

【笹岡委員】 皆様、遅くまでお疲れさまでございます。1点だけお伺いたします。事務事業評価の28ページ、**帰宅困難者対策**であります。

先日も、3.11のときに帰宅困難者の訓練が行われたと思いますが、ちょっと別件が入っていて行けなかったのですが、とても気になっていたところでもありますので、何点か質問させていただきます。

まず、武蔵野市において帰宅困難者の想定は、ミニマムからマックスまで何人想定されているのか。

また、この成果として**目標値 1,700 人分の備蓄、3 日分**というのが、**実際値 700**ということですが、こちらの今後の備蓄をどうしていくのか、スペース等の見解を伺いたいと思います。

また、地域防災計画の中で**応援協定**というのがありまして、各駅の近くとかの場所で一時的に滞在させていただける場所ということで、ほかの自治体に比べると武蔵野は割と数も多く協定を結んでいるのかなという印象を受けましたが、**中で安養寺さんが入っていた**のですけれども、**武蔵野はほかにもお寺とか神社が比較的多いと思うのですが、そちらほかのものというのはどうなっているのか**、また、これというのはどのように選ばれるのかというのを伺いたいと思います。

もう1点、想定のこと伺いたいのですが、東京都によると、昼12時に災害が起こった場合、都内には390万人の帰宅困難者が出るということで、死者も800人、負傷者2,600人想定されているということですが、これは**武蔵野市の想定**というのはどのようになっているのでしょうか。まず、そこを伺いたいと思います。

【中村防災課長】 まず**帰宅困難者につきましては、一時滞在施設として21カ所に依頼**しております。

毎年いろいろなところにお声がけをして、ふえているという形になっております。お寺さんにつきましては、今回、本堂を貸していただいて、訓練もさせていただいたのですが、一応駅からの利便性も考えてお願いするというような形になると思います。

次に、避難者の数でございますが、想定としましては、**当初おおむね6万人弱が駅の周辺にいられる**ということですが、それ以降、例えば会社、または徒歩でいられる方等々を

合わせて、最終的に職場や学校等の所属がなく、**屋外被災者となる帰宅困難者がおおむね6,200人**という想定をしております。

また、**武蔵野市全体の死者につきましては41名を想定**しております。これは帰宅困難だけではなく、市内全域でということでございます。

帰宅困難者の備蓄場所ですけれども、現在、公会堂に備蓄しておりまして、29年度までは備蓄増を想定しています。公会堂の地下の倉庫ですけれども、容量的にはまだ大丈夫だということでございます。

失礼いたしました。**市内全域の負傷者の想定でございますが、796名を想定**しています。以上です。

【笹岡委員】 ありがとうございます。6,200人ほど想定されているということで、こちらは最終的に何名分ぐらいの備蓄を用意されようと思っているのか。

今は公会堂にということですが、今後公会堂でその予定数が足りると予想されているのかどうかを伺いたいと思います。

もう1点、協力を決めているということは杉並と練馬というのも入っていましたが、こちらは、例えば**合同シミュレーション等はされているのかどうか**。以前どこか、研修もしくは総合防災訓練か何かで、**シミュレーションをしたこと以外はできないから訓練が本当に大事だ**なんておっしゃっていたことを覚えているのですけれども、もしものときに連携するシステムがあって、その練習ができていますのかどうか。

あと、次の、首都直下型等が心配されていると思いますが、事務事業評価の26ページを見ると、左下に、「30年以内に70%の確率で発生する首都直下型地震への備えとして」というところがあって、**一番怖い想定のところをきちんと想定されているのだな**と思いました。

1点伺いたいの、むやみに移動しないというのが基本だというふうになっているのですけれども、こちら**子どもたちの学校における退避の中で、放射能とか原発事故を伴った場合の屋内退避の想定**というのはどのようにされているのか。**屋内退避のゴーサイン**というの**がどのように出るようになって**いるのか、想定があれば伺いたいと思います。

【中村防災課長】 備蓄量につきましては、現在、一時避難場所が3,000人ちょっと受け入れられるようになっております。ですから、まずこれに向けて、ひとまずはふやしていきたいと思っております。ただし、想定自体は6,200でございますので、そこまでふやしていければなというふうに思っております。

続きまして、他市とのシミュレーションでございますが、今のところ実施しておりません。今後検討していきたいと思っております。

あと、子どもの件でございますが、基本的に、災害があった場合、学童保育や保育園のほうで、保護者が迎えに来るまで預かるという状態になっていると思います。放射能につきましては、今のところ想定をしておりません。

【笹岡委員】 わかりました。いろいろ困難はあると思いますが、準備をたくさんしていただきたいと思います。

吉祥寺ルールというものもありますし、とても前向きに取り組んでいらっしゃると思いますが、神社というのでも救援物資が行き届かないことが、想定されていなかったところで預かった場合、あったと聞いておりますので、そういったところも、リスクの細分化ということも考えて、どんどん進めていただきたいと思いますし、子どもたちのことに関しては、しっかりと市が責任を持って基準を決めていただきたいと思います。

以上です。